2021年度シラバス

科目名:言語学特論Ⅰ	担当者:都 恩珍	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
言語は個人の生活や社会の運営にとって不可欠なものであり、言語によって我々は世界を捉え、ものを考え、思いを表現している。しかし、我々の言語の本質や価値に関する理解や認識は十分とは言えない。本授業は、あらゆる角度から言語活動の意義と実態を補足しようとする言語学の諸研究成果を取り上げながら、それらの問題についてじっくり考察していくことを目的とする。事前に配布する資料およびテキストを精読し、自分なりの理解を述べながら討議し、最後に与える主題についてレポートを提出する。

授業の到達目標
言語学の諸研究領域についての基礎的な理解が深まるようになる。日常の「ことば」を注意して観察・意識しながら、「ことば」を通して生活や社会の営みを捉える視点を持つようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
言語学関連の入門書を読み、基礎力をつける。新聞や雑誌などの「ことば」を主題にした記事・文章をスクラップし、それについての意見をまとめる。授業外に必要とされる学修時間：約4時間

評価方法
授業中の課題発表（40%）、期末のレポート（40%）、学修活動への参加（20%）

教科書	参考図書
『入門ことばの科学』　大修館書店	授業中に提示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
日常の言葉を研究の対象として観察すると、様々な面白さが見えてきます。 連絡先は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：水曜日２限

01	オリエンテーション、ことばの話
02	言語とは何か
03	言語の起源
04	動物の伝達と人間の言語
05	言語の習得
06	言語の構造
07	発音記号の役割
08	発話の意味
09	言語の多様性
10	言語と社会
11	言語接触
12	ピジンとクレオール
13	言語の系統
14	世界の言語
15	言語学的アプローチの試み
16	なし

2021年度シラバス

科目名:言語学特論Ⅱ	担当者:都 恩珍	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
コミュニケーションにおける言語研究の中で談話分析を取り上げ、その理論や方法論を考察する。最近の実証的談話分析研究の理解を踏まえつつ、実践例を参考にしながら、分析の手法を具体的に学び、データ収集から分析作業までを実際に試みる。事前に配布する資料およびテキストを精読し、自分なりの理解を述べながら討議し、最後に与える主題についてレポートを提出する。

授業の到達目標
談話研究についての理解が深まるようになる。日常の「ことば」を注意して観察・意識しながら、会話のメカニズムを分析的に捉える視点が身につく。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
談話・会話分析関連の入門書を読み、基礎力をつける。生の会話データを集め、文字化し、資料化する。授業外に必要とされる学修時間：約4時間

評価方法
授業中の課題発表（40%）、期末のレポート（40%）、学習活動への参加（20%）

教科書
『談話分析のアプローチー理論と実践』研究社

参考図書
『談話分析の可能性』泉子・K・メイナード　くろしお出版『会話分析・ディスコース分析』鈴木聡志　新曜社『談話資料　日常のことば』　現代日本語研究会　ひつじ書房

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
日常の言葉を研究の対象として観察すると、様々な面白さが見えてきます。　　連絡先は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：水曜日2限

01	オリエンテーション、談話分析について
02	理論と背景
03	海外の談話分析、日本の談話分析
04	意図表現と解釈
05	文脈情報と意味
06	会話の構造
07	会話のストラテジー
08	テクストと情報
09	言語機能と文法
10	言語と文化
11	相互行為の理論
12	相互行為の分析
13	相互行為と社会的心理
14	言語と社会的権力
15	談話分析の意義と展望
16	なし

2021年度シラバス

科目名:哲学特論Ⅰ	担当者:井上 文人	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
哲学とは、〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問である。哲学特論は、特殊な問題から哲学全体を明らかにしようとするものである。本哲学特論は、「高度職業人の育成」のために、通常の人間が生きる日常の中の様々な生き方の諸問題から哲学的思考を明らかにすることを本授業の概要と方法としている。

授業の到達目標
本哲学特論Ⅰは、平易な表現で本質的な思考を行う『14歳の哲学』という素材を通じて、〈哲学する〉という哲学的思考の体得を本授業の到達目標としている。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：授業の準備学修としてテキストの該当箇所の事前の読解・熟考は必需である：２時間。事後学修：各授業で扱われた生き方の諸問題の継続的な考察が重要である：２時間。

評価方法
レポート試験点〔50%〕と平常点（出席や受講態度等）〔50%〕の総合評価で行う。

教科書	参考図書
池田晶子著『14歳からの哲学―考えるための教科書―』	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
日常的に様々な問題を〈哲学する〉姿勢を持とうとすることが重要である。
連絡先は授業で開示する。

01	オリエンテーション・考える１：思う
02	考える２：正しさ
03	考える３：本当
04	言葉１：意味
05	言葉２：現実
06	自分とは誰か
07	死をどう考える
08	体の見方
09	心はどこにあるか
10	他人とは何か
11	家族
12	社会
13	規則
14	理想と現実
15	友情と愛情
16	なし

2021年度シラバス

科目名:哲学特論Ⅱ	担当者:井上 文人	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
哲学とは、〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問である。哲学特論は、特殊な問題から哲学全体を明らかにしようとするものである。本哲学特論は、「高度職業人の育成」のために、通常の人間が生きる日常の中の様々な生き方の諸問題から哲学的思考を明らかにすることを本授業の概要と方法としている。

授業の到達目標
本哲学特論Ⅱは、平易な表現で本質的な思考を行う『14歳の哲学』という素材を通じて、〈哲学する〉という哲学的思考の体得を本授業の到達目標としている。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：授業の準備学修としてテキストの該当箇所の事前の読解・熟考は必需である：２時間。事後学修：各授業で扱われた生き方の諸問題の継続的な考察が重要である：２時間。

評価方法
レポート試験点〔50%〕と平常点（出席や受講態度等）〔50%〕の総合評価で行う。

教科書	参考図書
池田晶子著『14歳からの哲学―考えるための教科書―』	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
日常的に様々な問題を〈哲学する〉姿勢を持とうとすることが重要である。
連絡先は授業で開示する。

01	恋愛と性
02	仕事と生活
03	品格と名誉
04	本物と偽物
05	メディアと書物
06	宇宙と科学
07	歴史と人類
08	善悪１：善悪
09	善悪２：基準
10	自由
11	宗教
12	人生の意味１：存在の意味
13	人生の意味２：運命と自由
14	存在の謎１：自分の謎
15	存在の謎２：宇宙の謎・まとめ
16	なし

科目名:English Linguistics Ⅰ	担当者:内田 政一	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業では、英語学の多岐に渡る研究領域を深く理解し、各領域において基本的な思考法と専門用語を確認し、どのような研究課題が存在するかを考えて行く。毎回、各テーマについて事前に予習をしておき、中心となる課題について議論し、整理し、自分の言葉で考察を加えることで、英語学的な発想とその理解を深めて行く。

授業の到達目標
英語学的な思考法を理解する。データを整理し、問題点を抽出する能力を養う。また機能的な学習により発見学習の素地を構築する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前に示したテーマについて、予習をしておくのと同時に、自分なりの考察をしておくこと。

評価方法
授業でのプレゼンテーション50%　課題レポート50%

教科書	参考図書
Linguistics Adrian AKMAJIAN　他　著　　MIT Press	その都度指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書を必ず持参すること。

01	What is linguistics?
02	Morphology:The study of the structureMorphology:The study of words
03	Phonetics and Phonemic Transcription
04	Phonology:The study of sound structure
05	Syntax:The study of sentence structure (Some background concepts)
06	Syntax:The study of sentence structure (A more formal account of syntactic theory)
07	プレゼンテーション
08	Semantics:The study of meaning and denotation (Semantics as a part of grammar)
09	Semantics:The study of meaning and denotation (The scope of a semantic theory)
10	Language variation
11	Language change
12	Pragmatics:The study of language use and communication
13	Psychology of language: Speech production and comprehension
14	Language acquisition in children
15	Language and the brain
16	なし

科目名:English LinguisticsⅡ	担当者:内田 政一	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業では、英語学の多岐に渡る研究領域を深く理解し、各領域において基本的な思考法と専門用語を確認し、どのような研究課題が存在するかを考えて行く。毎回、各テーマについて事前に予習をしておき、中心となる課題について議論し、整理し、自分の言葉で考察を加えることで、英語学的な発想とその理解を深めて行く。

授業の到達目標
英語学的な思考法を理解する。データを整理し、問題点を抽出する能力を養う。また機能的な学習により発見学習の素地を構築する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前に示したテーマについて、予習をしておくのと同時に、自分なりの考察をしておくこと。

評価方法
授業でのプレゼンテーション50%　課題レポート50%

教科書	参考図書
First Verbs: A case study of early grammatical development Michale Tomasello著　Cambridge university Press.	その都度指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書を必ず持参すること。

01	Introduction and Cognitive linguistics and the development
02	The importance of verbs
03	In the beginning was verbs (Children's first verbs)
04	In the beginning was verbs (Children's first sentences)
05	Methods and an introduction to T's language (Semantics analysis of verbs)
06	Methods and an introduction to T's language (Syntactic analysis of sentences)
07	Change of state verbs and sentences (Exchange and possession of objects)
08	Change of state verbs and sentences (Location of objects and Movement of objects)
09	プレゼンテーション
10	Activity verbs and sentences (Activity involving objects)
11	Activity verbs and sentences (Activity not involving objects)
12	Other grammatical structures
13	Complex sentences
14	The development of T's grammar
15	Language acquisition as culturalLanguage acquisition as cultural learning
16	なし

2021年度シラバス

科目名:English LinguisticsⅢ	担当者:内田 政一	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業では、英語学の多岐に渡る研究領域を深く理解し、各領域において基本的な思考法と専門用語を確認し、どのような研究課題が存在するかを考えて行く。毎回、各テーマについて事前に予習をしておき、中心となる課題について議論し、整理し、自分の言葉で考察を加えることで、英語学的な発想とその理解を深めて行く。

授業の到達目標
英語学的な思考法を理解する。データを整理し、問題点を抽出する能力を養う。また機能的な学習により発見学習の素地を構築する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前に示したテーマについて、予習をしておくのと同時に、自分なりの考察をしておくこと。

評価方法
授業でのプレゼンテーション50%　課題レポート50%

教科書	参考図書
Explaining English Grammar George Yule　著　Oxford University Press.	その都度指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書を必ず持参すること。

01	Introduction and terminology
02	Basic forms, Basic meaning and Meaning in context
03	Articles
04	Tense and aspect (Tense, aspect)
05	Tense and aspect (Lexical, and grammatical aspect)
06	Modals (Epistemic modality and root modality)
07	Modals (can, may, must, will, should)
08	プレゼンテーション
09	Conditionals
10	Prepositions and particles
11	Indirect objects
12	Infinitives and gerunds
13	Relative clauses (Subject and object relatives)
14	Relative clauses (who, which, that, where, when, why)
15	Direct and indirect speech
16	なし

2021年度シラバス

科目名:English LinguisticsⅣ	担当者:内田 政一	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業では、英語学の多岐に渡る研究領域を深く理解し、各領域において基本的な思考法と専門用語を確認し、どのような研究課題が存在するかを考えて行く。毎回、各テーマについて事前に予習をしておき、中心となる課題について議論し、整理し、自分の言葉で考察を加えることで、英語学的な発想とその理解を深めて行く。

授業の到達目標
英語学的な思考法を理解する。データを整理し、問題点を抽出する能力を養う。また機能的な学習により発見学習の素地を構築する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前に示したテーマについて、予習をしておくのと同時に、自分なりの考察をしておくこと。

評価方法
授業でのプレゼンテーション50%　課題レポート50%

教科書	参考図書
Change in contemporary English:A grammar study Geoffrey Leech他　著　Cambridge University Press.	その都度指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書を必ず持参すること。

01	Introduction:‘grammar blindness’ in the recent history of English?
02	Comparative corpus linguistics:the methodological basis of this book
03	The subjunctive mood
04	The modal auxiliaries
05	The so called semi-modals
06	The progressive (Present progressive active)
07	The progressive (Progressive passive)
08	プレゼンテーション
09	The passive voice (The be-passive)
10	The passive voice (The get-passive)
11	Take or have a look at a corpus? Expanded predicates in British and American English
12	Non-finite clauses
13	The noun phrase
14	Linguistic and other determinants pf change (The functional and social processes of change)
15	Linguistic and other determinants pf change (Grammaticalization)
16	なし

2021年度シラバス

科目名:British Literature Ⅰ	担当者:斎 孝則	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
The purpose of this course is to read a couple of literary works of the U.K. and inspect their richness as literature through close reading. Also we will examine their social, cultural, historical & geographical background.

授業の到達目標
Upon completion of this course, students will be able to:1. understand how careful reading benefit us.2. understand how social, cultural understanding benefit our reading.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are supposed to prepare well for classes. They are asked to submit weekly homework and monthly reflection throughout the semester.

評価方法
1. Weekly homework: 40% 2. Monthly reflection 30% 3. Semester portfolio 30%

教科書	参考図書
"Sense and Sensibility"	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact information will be announced in class.

01	Introduction to this course
02	Read and appreciate Volume I, Chapter 1~6
03	Give an analysis, Volume I, Chapter 1~6
04	Watch DVD, Volume I, Chapter 1~6
05	Read and appreciate Volume I, Chapter 7~11
06	Give an analysis, Volume I, Chapter 7~11
07	Watch DVD, Volume I, Chapter 7~11
08	Read and appreciate Volume I, Chapter 12~17
09	Give an analysis, Volume I, Chapter 12~17
10	Watch DVD, Volume I, Chapter 12~17
11	Read and appreciate Volume I, Chapter 18~22
12	Give an analysis, Volume I, Chapter 18~22
13	Watch DVD, Volume I, Chapter 18~22
14	Write a semester portfolio
15	Reflect upon this semester
16	None

2021年度シラバス

科目名:British LiteratureⅡ	担当者:斎 孝則	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
The purpose of this course is to read a couple of literary works of the U.K. and inspect their richness as literature through close reading. Also we will examine their social, cultural, historical & geographical background.

授業の到達目標
Upon completion of this course, students will be able to:1. understand how careful reading benefit us.2. understand how social, cultural understanding benefit our reading.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are supposed to prepare well for classes. They are asked to submit weekly homework and monthly reflection throughout the semester.

評価方法
1. Weekly homework: 40% 2. Monthly reflection 30% 3. Semester portfolio 30%

教科書	参考図書
"Sense and Sensibility"	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact information will be announced in class.

01	Introduction to this course
02	Read and appreciate Volume II, Chapter 1~7
03	Give an analysis, Volume II, Chapter 1~7
04	Watch DVD, Volume II, Chapter 1~7
05	Read and appreciate Volume II, Chapter 8~14
06	Give an analysis, Volume II, Chapter 8~14
07	Watch DVD, Volume II, Chapter 8~14
08	Read and appreciate Volume III, Chapter 1~7
09	Give an analysis, Volume III, Chapter 1~7
10	Watch DVD, Volume III, Chapter 1~7
11	Read and appreciate Volume III, Chapter 8~14
12	Give an analysis, Volume III, Chapter 8~14
13	Watch DVD, Volume III, Chapter 8~14
14	Write a semester portfolio
15	Reflect upon this semester
16	None

2021年度シラバス

科目名:American Literature Ⅰ	担当者:斎 孝則	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
The purpose of this course is to read a couple of literary works of America and inspect their richness as literature through close reading. Also we will examine their social, cultural, historical & geographical background.

授業の到達目標
Upon completion of this course, students will be able to: 1. understand how careful reading benefits us 2. understand how social, cultural understanding benefits our reading.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are supposed to prepare well for classes. They are asked to submit weekly homework and monthly reflection throughout the semester.

評価方法
1. Weekly homework: 40% 2. Monthly reflection: 30% 3.Course Reflection Portfolio: 30%

教科書	参考図書
"The Adventures of Tom Sawyer"	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact information will be announced in class.

01	Introduction to this course
02	Read and appreciate: The first part
03	Give an analysis: The first part
04	Watch DVD: The first part
05	Read and appreciate: The second part
06	Give an analysis: The second part
07	Watch DVD: The second part
08	Read and appreciate: The third part
09	Give an analysis: The third part
10	Watch DVD: The third part
11	Read and appreciate: The last part
12	Give an analysis: The last part
13	Watch DVD: The last part
14	Write Course Reflection Portfolio
15	Presentation based on CRP
16	None

2021年度シラバス

科目名:American LiteratureⅡ	担当者:斎 孝則	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
The purpose of this course is to read a couple of literary works of America and inspect their richness as literature through close reading. Also we will examine their social, cultural, historical & geographical background.

授業の到達目標
Upon completion of this course, students will be able to: 1. understand how careful reading benefits us 2. understand how social, cultural understanding benefits our reading.

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Students are supposed to prepare well for classes. They are asked to submit weekly homework and monthly reflection throughout the semester.

評価方法
1. Weekly homework: 40% 2. Monthly reflection: 30% 3. Course Reflection Portfolio: 30%

教科書	参考図書
"Prince and Pauper"	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Contact information will be announced in class.

01	Introduction to this course
02	Read and appreciate: The first part
03	Give an analysis: The first part
04	Watch DVD: The first part
05	Read and appreciate: The second part
06	Give an analysis: The second part
07	Watch DVD: The second part
08	Read and appreciate: The third part
09	Give an analysis: The third part
10	Watch DVD: The third part
11	Read and appreciate: The last part
12	Give an analysis: The last part
13	Watch DVD: The last part
14	Write Course Reflection Portfolio
15	Presentation based on CRP
16	None

2021年度シラバス

科目名:English Education Ⅰ	担当者:石渡 雅之	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:None		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This class is designed for students who want to learn EFL/ESL teaching methods and theories. The goal of of this class is to have ability to teach English to non-native speakers of English.
This course consists of very short lectures, one presentation or paper quizzes, discussions, and reflections.

授業の到達目標
Students who pass this class will be able to:
1-understand the academic vocabulary associated with the course
2-become more aware of the differences and the similarities of SLA theories and methods
3-begin to apply their new knowledge of language and l

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
To build students' critical thinking, they are expected to bring in their ideas, opinions, and background knowledge, which are all to be prepared before each class. In addition, they are expected to manage successful discussions based on what they prepare

評価方法
Monthly reflections-30%
Project paper-20%
Micro-teaching-20%
Team paper-30%

教科書	参考図書
新しい英語科授業の実践　石田雅近・小泉仁・古家貴雄著（金星堂）	Needed information will be given in each class

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Office:7311

01	Introduction to teaching English as a second language
02	Introduction to teaching English as a foreign language
03	Introduction to teaching as an international language
04	How to make a lesson plan?
05	Behaviorism
06	Cognitive learning theory
07	Constructivism
08	Zone of Proximal Development
09	Communities of practice (COP)
10	Legitimate peripheral participation
11	Affective filter
12	Micro-Teaching preparation
13	Micro-teaching
14	Micro-teaching feedback and review
15	New Course of Study
16	None

2021年度シラバス

科目名:English Education Ⅱ	担当者:石渡 雅之	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:None		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
This course will focus on elements of developing a curriculum for language teaching. Areas that will be explored include needs analysis, goals and objectives, syllabus design, methodology and materials. In class, students will discuss, ask questions and complete quizzes and other activities aimed at developing their knowledge of the field.

授業の到達目標
By the successful completion of this course, students will be able to:
1-develop and focus their learning of TESOL/TEFL curriculum elements
2-make good materials to raise students' motivation
3-understand applied or socio linguistics aspects affecting

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
Read the class materials before class each week so students can access the quizzes and other activities in time for class. Be organised-prepare and complete tasks early. Identify their special area of interest early so they can plan their presentation pro

評価方法
35%-reading &quizzes before class
25%-Class activities on the moodle
20%-Material making and analysis of their effect on learning motivation
20%-Essays writing-

教科書	参考図書
新しい英語科授業の実践　石田雅近・小泉仁・古家貴雄著（金星堂）	Needed information will be introduced in each class and is available from the moodle site.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Office 7311

01	Difference of TESOL, TESL, and TEFL
02	TEFL needs analysis
03	Motivation and language learning
04	Goal and objectives
05	Syllabus design
06	Case study assignment
07	The bilingual brain
08	Lesson plan template assignment information
09	Discussion and design
10	Materials listening
11	Materials activities
12	Use of ICT in language teaching classes
13	English ability for JTE
14	What is CLT?
15	Review and Communication in English classes
16	None

2021年度シラバス

科目名:英語科教育学特論Ⅰ	担当者:石渡 雅之	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
この授業は講義を中心とする。英語教育の基礎的・基本的な内容を理論面・実践面の両側面から再確認する内容から始める。その上で、外国語教育学、国際理解教育学、言語心理学、社会言語学などの幅広い視座から英語科教育を多面的にとらえていく授業へと発展させる。尚、授業内では随時英語科教育のカリキュラムを自分で設計できる実践力を身に付けることを目標とした内容にもふれていく。

授業の到達目標
a. 小学校から高等学校までの各段階における外国語としての英語を効果的に教えるための理論と実践の両面を理解することができる。b. 英語教育学の基礎的・基本的な内容を再確認し、それを踏まえた上で、学際的な視座から英語教育学を多面的にとらえることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
日本の英語教育に関する事実を理解するために文献を調べ、その上で英語教育に関わる指導法等諸理論をしっかりと学ぶ姿勢を持つこと。

評価方法
課題発表（３回）合計３０％　レポート試験　７０％

教科書	参考図書
望月昭彦（編著）新学習指導要領にもとづく英語科教育法（ 大修館書店）	随時授業にて紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
特に受講要件として設定するものではないが、英語文献に触れる機会が多いため、英語原書購読ができる程度の英語力が求められる。研究室：７３１１

01	授業の進め方、研究方法など
02	英語教育と英語教育学
03	英語の国際化と日本の英語教育
04	英語教育学の概要（領域・内容）
05	外国語教育概要（日本の小学校英語教育）
06	外国語教育概要（日本の中学校英語教育）
07	外国語教育概要（日本の高等学校英語教育）
08	新学習指導要領と英語科教育法
09	英語学習者論1（学校教育における生徒児童対象）
10	英語学習者論２（学校教育外の対象者−成人・外国人）
11	日本における英語科教育と国際理解教育
12	総合的な学習の時間と国際理解教育
13	外国語授業カリキュラム論
14	英語教材論1（学校教育での教材）
15	英語教材論2（社会教育での教材）
16	なし

科目名:英語科教育学特論Ⅱ	担当者:石渡 雅之	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
本授業においては、前記の同科目Ⅰで学んだ内容をベースとして、さらに英語教育学の詳細について多角度から学んでいく。内容としては「教育メディアの活用」という項目も入り、ここでは学習サイト「ムードル」の活用方法、あるいはまとめとして「学習ポートフォリオ」作成などの新しい内容／実践も扱う。また、英語教育学について、学問的な見解をもちながらも実践の教育現場における「リスニング指導のあり方」「ライティング指導のあり方」「スピーキング指導のあり方」「リーディング指導のあり方」、更には「授業分析方法と指導案作成方法」といった実践教育全般に関する諸理論にまで踏み込む内容となる。

授業の到達目標
a. 英語科教育の詳細について多角度から学んでいく。
b.「ICTの教育活用」という新しいテーマを設定し、学習サイト「ムードル」の英語教育への活用方法、あるいはまとめとして英語教育における「学習ポートフォリオ」作成などの実践方法を理解することができる。
c. 「リスニング指導のあり方」「ライティング指導のあり方」「スピーキング指導のあり方」「リーディング指導のあり方」「授業分析方法と指導案作成方法」という実践教育全般に関する諸理論を理解することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
日本の英語教育に関する事実を理解するために文献を調べ、その上で英語教育に関わる指導法等諸理論をしっかりと学ぶ姿勢を持つこと。

評価方法
課題発表（３回）合計３０％　レポート試験　７０％

教科書	参考図書
新学習指導要領にもとづく英語科教育法（大修館書店）	随時授業にて紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
特に受講要件は設定しないが、英語文献に触れる機会が多いため、英語原書購読ができる程度の英語力が求められる。尚、前期の授業を履修せずに後期から受講する場合は、前期の授業で行った内容を自ら学び理解した上で、出席することが求められる。
研究室：７３１１

01	授業の進め方、研究方法など
02	外国語教育学関連の文献購読（英語教育学）
03	外国語教育学関連の文献購読（応用言語学）
04	外国語教育と教育ICTの活用（教育評価）
05	外国語教育と教育ICTの活用（ムードルサイトの活用方法）
06	リーディング指導に関する諸理論
07	ライティング指導に関する諸理論
08	リスニング指導に関する諸理論
09	スピーキング指導に関する諸理論
10	英語授業評価理論（授業者焦点）
11	英語授業評価理論（学習者焦点）
12	授業分析方法と指導案作成方法
13	英語教育と異文化理解
14	英語教育と多文化社会理解
15	学習ポートフォリオの作成
16	なし

科目名:日本文化特論Ⅰ	担当者:太田 昌孝	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
文芸作品の中でも特に詩について学ぶ。日本近現代詩の歴史は外国に類を見ない特殊な性質を帯びている。授業では、その特殊性を明らかにするため、日本近現代詩の著名な作品をテキストにして、日本古来の「歌」の伝統を基盤として形成された日本近現代詩にヨーロッパ文学がどのような影響を与えたかについて学ぶ。また、特に西脇順三郎、立原道造、中原中也等を中心とする、昭和初年代の詩人の作品を鑑賞することにより、現代詩という文芸の持つ本質について講義する。

授業の到達目標
日本近現代詩の魅力と鑑賞方法について学ぶ。
・詩という文芸が持つ魅力について、日本近現代詩を代表する作品をもとに理解を深める。
・近代詩及び現代詩の持つ特性を学ぶことにより、詩という文芸の鑑賞方法について理解を深める。
・詩の創作に興味を抱いた受講生は実際に作品を創作する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
日本近現代詩の魅力と鑑賞方法について学ぶ。
・詩という文芸が持つ魅力について、日本近現代詩を代表する作品をもとに理解を深める。
・近代詩及び現代詩の持つ特性を学ぶことにより、詩という文芸の鑑賞方法について理解を深める。
・詩の創作に興味を抱いた受講生は実際に作品を創作する。

評価方法
課題20%、レポート80%という割合で評価する。

教科書	参考図書
随時、プリントを用意する。	「日本文学大事典」等

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
系統的な講義なので欠席をしないようにすること。

01	講義概説（講義の目標とその概説）
02	詩学入門1（日本近現代詩の成立と展開・明治から大正）
03	詩学入門2（日本近現代詩の成立と展開・昭和から平成）
04	作品鑑賞1（萩原朔太郎と口語自由詩）「月に吠える」味読
05	作品鑑賞2（宮沢賢治の世界）「春と修羅」味読
06	作品鑑賞3（立原道造の抒情詩1）「萱草に寄す」味読①
07	作品鑑賞4（立原道造の抒情詩2）「萱草に寄す」味読②
08	作品鑑賞5（中原中也の魅力）詩編二作読解
09	作品鑑賞6（西脇順三郎の詩と詩論1）「超現実主義詩論」分析①
10	作品鑑賞7（西脇順三郎の詩と詩論2）「超現実主義詩論」分析②
11	作品鑑賞8（鮎川信夫と戦後詩）「死んだ男」味読
12	作品鑑賞9（谷川俊太郎の抒情と感性1）「二十億光年の孤独」味読①
13	作品鑑賞10（谷川俊太郎の抒情と感性2）「二十億光年の孤独」味読②
14	作品鑑賞11（活躍する現代詩人）和合亮一と小池昌代
15	講義のまとめ：現代詩の行方
16	なし

2021年度シラバス

科目名:日本文化特論Ⅱ	担当者:太田 昌孝	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
文芸作品の中でも特に詩について学ぶ。日本近現代詩の歴史は外国に類を見ない特殊な性質を帯びている。授業では、その特殊性を明らかにするため、日本近現代詩の著名な作品をテキストにして、日本古来の「歌」の伝統を基盤として形成された日本近現代詩にヨーロッパ文学がどのような影響を与えたかについて学ぶ。また、特に西脇順三郎、立原道造、中原中也等を中心とする、昭和初年代の詩人の作品を鑑賞することにより、現代詩という文芸の持つ本質について講義する。

授業の到達目標
日本近現代詩の魅力と鑑賞方法について学ぶ。　・詩という文芸が持つ魅力について、日本近現代詩を代表する作品をもとに理解を深める。　・近代詩及び現代詩の持つ特性を学ぶことにより、詩という文芸の鑑賞方法について理解を深める。
・詩の創作に興味を抱いた受講生は実際に作品を創作する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・詩集を数冊選び、興味深く読んだ作品をコピーする。

評価方法
課題20%、レポート80%という割合で評価する。

教科書	参考図書
随時、プリントを用意する。	「日本文学大事典」等

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
系統的な講義なので欠席をしないようにすること。

01	講義概説（講義の目標とその概説）
02	詩学入門1（日本近現代詩の成立と展開・明治から大正）
03	詩学入門2（日本近現代詩の成立と展開・昭和から平成）
04	作品鑑賞1（萩原朔太郎と口語自由詩）
05	作品鑑賞2（宮沢賢治の世界）
06	作品鑑賞3（立原道造の抒情詩1）
07	作品鑑賞4（立原道造の抒情詩2）
08	作品鑑賞5（中原中也の魅力）
09	作品鑑賞6（西脇順三郎の詩と詩論1）
10	作品鑑賞7（西脇順三郎の詩と詩論2）
11	作品鑑賞8（鮎川信夫と戦後詩）
12	作品鑑賞9（谷川俊太郎の抒情と感性1）
13	作品鑑賞10（谷川俊太郎の抒情と感性2）
14	作品鑑賞11（活躍する現代詩人）
15	講義のまとめ
16	なし

2021年度シラバス

科目名:観光学特論Ⅰ	担当者:辻 のぞみ	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法 日本のインバウンド観光政策の歴史と現状について、観光庁による「観光白書」ほか、国の観光政策資料をベースに、講義とディスカッション形式で授業を行う。
授業の到達目標 日本のインバウンド観光政策の歴史と現状を理解する。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 事例の実地視察やレポートを授業外の課題として指示します。
評価方法 授業参加度、積極性50%、課題レポートの作成、課題のプレゼンテーション等50%

教科書	参考図書
適宜資料を配布します	必要に応じて提示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 連絡手段はメールと研究室です。

01	インバウンド観光とは
02	世界のインバウンド観光の状況1　送り出し市場の状況
03	世界のインバウンド観光の状況2　旅行者受け入れ国の状況
04	日本のインバウンド観光の歴史1　明治維新～昭和の貿易摩擦の時代
05	日本のインバウンド観光の歴史2　ビジットジャパンキャンペーン～現在まで
06	訪日旅行の市場1　全世界の状況
07	訪日旅行の市場2　アジア市場
08	訪日旅行の市場3　欧米市場
09	訪日旅行の市場4　その他の市場
10	訪日旅行の市場5　今後の展望
11	インバウンド観光政策1　インバウンド観光政策の意味
12	インバウンド観光政策2　世界のインバウンド観光政策
13	インバウンド観光政策3　日本のインバウンド観光政策
14	インバウンド観光プロモーション1　観光マーケティングとは
15	インバウンド観光プロモーション2　インバウンド観光プロモーションについて考えよう
16	なし

2021年度シラバス

科目名:観光学特論Ⅱ	担当者:辻 のぞみ	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
観光マーケティングの理論を学ぶとともに、地域における観光振興の取り組みについて、特にそのインバウンド観光への取り組みについて、講義とディスカッション形式で授業を行う。

授業の到達目標
観光マーケティング論を理解し、地元地域における具体例による学びによりその理解を深めること。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事例の実施視察やレポートを授業外の課題として指示します。

評価方法
授業参加度、積極性50%、課題レポートの作成、課題のプレゼンテーション等50%

教科書	参考図書
適宜資料を配布します	必要に応じて提示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段はメールと研究室です。

01	観光マーケティングとは1	観光マーケティングとは何か
02	観光マーケティングとは2	日本と世界の観光マーケティング
03	中部地方の観光政策1	広域観光推進組織とその活動について
04	中部地方の観光政策2	昇龍道における取り組み
05	中部地方の観光政策3	広域観光推進連携によるプロモーション事業
06	中部地方の観光政策4	中部地方主要地域における観光振興の取り組み
07	愛知県の観光政策1	愛知県の観光推進組織とその活動
08	愛知県の観光政策2	あいち観光戦略を読み解く
09	愛知県の観光政策3	愛知県の観光プロモーション事業
10	名古屋市・豊明市の観光政策1	名古屋市の行政による観光への取り組み
11	名古屋市・豊明市の観光政策2	豊明市の行政による観光への取り組み
12	名古屋市・豊明市の観光政策3	名古屋市・豊明市の観光への取り組みのまとめ（発表）
13	地方創生とインバウンド観光1	日本におけるインバウンド観光
14	地方創生とインバウンド観光2	地方創生のためのインバウンド観光振興への取り組み
15	地方創生とインバウンド観光3	地方創生のためのインバウンド観光振興のまとめ（発表）
16	なし	

2021年度シラバス

科目名:歴史学特論Ⅰ	担当者:布 和	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
　この授業は、大学院地域文化専攻のポリシーである「世界的視野で地域課題にアプローチ」できる人材の育成に合致し、前近代の日中交流史から日本史全体を眺めるものである。授業では、時代ごとの文献史料を提示して解説し、学生との問答も行う。授業内容は学部時の教養講義を深めたものとする。

授業の到達目標
　この講義を通じて、前近代の日中交流史について深く理解し、新たな視点で日中関係を見つめ直すことができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業後にもう一度、提示された文献史料を1～２時間程度をかけて読み直すことを勧める。

評価方法
　６回以上の欠席は単位取得ができない。授業参加意欲(30%)、プレゼンテーション（30%）及びレポート(40%)で評価する。

教科書	参考図書
プリントを配る予定	授業で指定する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業計画は進度によって多少な変更が生じる。担当教員のメイルアドレスbuhe@ohkagakuen-u.ac.jp

01	講義説明
02	日中交流の幕開け①「親魏倭王」印の発見
03	日中交流の幕開け②倭の「五王」の使者派遣
04	遣隋使の派遣
05	遣唐使の時代
06	蒙古襲来①襲来の前夜
07	蒙古襲来②襲来の経過と影響
08	第一回目の学生によるプレゼンテーション
09	倭寇の時代①倭寇の出現と対馬
10	倭寇の時代②後期倭寇と五島列島
11	琉球の中継貿易①薩摩藩の侵攻前
12	琉球の中継貿易②両属状態下において
13	スペイン・オランダ時代の台湾
14	明清交替期の台湾の鄭氏政権と日本
15	第二回目のプレゼンテーション
16	なし

2021年度シラバス

科目名:歴史学特論Ⅱ	担当者:布 和	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
　この授業は、大学院地域文化専攻のポリシーである「世界的視野で地域課題にアプローチ」できる人材の育成に合致し、近現代の日中交流史から日本史全体を眺めるものである。授業では、文献史料を提示して解説し、学生との問答も行う。授業内容は学部時の教養講義を深めたものとするが、前期の講義Ⅰの延長である。

授業の到達目標
　この講義を通じて、近現代の日中交流史について深く理解し、新たな視点で日中関係を見つめ直すことができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業後にもう一度、提示された文献史料を1時間から２時間程度をかけて読み直すことを勧める。

評価方法
　６回以上の欠席は単位取得ができない。授業参加意欲（30%）、プレゼンテーション(30%)及びレポート(４0%)で評価する。

教科書	参考図書
プリントを配る予定。	授業で指定する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業計画は進度によって多少な変更が生じる。担当教員のメイルアドレスbuhe@ohkagakuen-u.ac.jp

01	講義説明
02	近代日本の開国
03	近代中国の開国
04	琉球処分について①明治政府の動き
05	琉球処分について②琉球側の対応
06	日清関係と朝鮮①日朝修好条規を中心に
07	日清関係と朝鮮②1882年の朝鮮開国
08	第一回目の学生によるプレゼンテーション
09	日本の清国留学生①初期の来日
10	日本の清国留学生②分野別の留学生
11	日中戦争前夜の国際関係
12	日中戦争の過程
13	魯迅と内山完造の出会い
14	内山完造の思想
15	第二回目のプレゼンテーション
16	なし

科目名:女性史特論Ⅰ	担当者:石月　静恵	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
　日本女性史を古代から近代まで資料を読みながら概観します。それぞれの時代の特徴と女性の地位の変遷を考察します。授業方法は、基本的には講義としますが、テキストの資料については、授業時に受講者に読んでいただき、疑問点を発言していただきます。それらを踏まえて、時代の特徴と女性の地位の関連を解説します。

授業の到達目標
　日本における女性の地位の変遷過程を理解することを目標とします。具体的には、古代・中世・近世・近代という時期区分に従い、時代の特徴と女性の権利や家族の中での女性の位置を理解できることを目指します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　日本史の基礎的知識（中学日本史程度で結構です）を世界史の時期区分に照らして確認しておいてください。また、テキストは、事前に読んで、資料も音読できるようにしておいてください。期末テストの代わりにレポートを課しますので、課題について調査・研究してレポートを提出していただきます。準備学修は、1講義につき60分、第2回から第14回まで計13時間、事後学修は1講義につき30分、第2回から第15回まで計7時間、レポート作成のための調査・研究に5時間、レポート作成に5時間、学習時間は合計で30時間とする。

評価方法
　授業への出席・参加30%　　発表30%　　レポート40%

教科書	参考図書
『史料にみる日本女性のあゆみ』吉川弘文館	授業時に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　前近代の史料は読みにくいかもしれませんが、手書き文書ではなく、活字ですので、辞書等を活用して読んでおいてください。なお、連絡方法は、授業時にお知らせします。

01	ガイダンス
02	古代①　政治権力の場で
03	古代②　結婚の変化と売買春
04	古代③　生活とはたらき
05	古代④　自己表現と束縛のはざま
06	中世①　政治史で活躍した女性
07	中世②　婚姻・妻・財産
08	中世③　女性と宗教
09	近世①　武家女性の地位と思索
10	近世②　農村女性の労働と生活
11	近世③　結婚・出産と売買春
12	近世④　女性の旅日記
13	近代①　文明開化と女性
14	近代②　資本主義の成立と女性の役割
15	まとめ
16	なし

2021年度シラバス

科目名:女性史特論Ⅱ	担当者:石月　静恵	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
　近代日本の女性の歴史を概観します。女性の状況を政治・教育・労働・生活・運動・思潮の各側面から多角的にとらえます。そのうえで、女性が置かれた差別的状態を変えようと努力した近代の女性たちの足跡をたどります。授業は講義を中心にしますが、各テーマごとに受講生がまとめてレジュメを作成し、要点を報告していただきます。

授業の到達目標
　近代日本の女性の歴史を時代的背景の中で理解することを目標にします。女性が置かれた状態とそれを変えようとする女性たちの活動を学び、現代の女性問題に対する理解を深めることを目指します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業時にテーマごとにまとめて発表していただきますので、その準備をしておいてください。また、期末テストに変えてレポートを課しますので、調査・研究してレポートを作成してください。事前学修は、政治・教育・労働・生活・運動・思潮の各テーマごとに２時間、計12時間。事後学修は、1回の講義につき各30分、第2回から第15回まで計7時間。レポート作成のための調査・研究に5時間、レポート執筆に6時間、学修時間は合計で30時間を要します。

評価方法
　授業への出席・参加30%　　授業時の発表30%　　レポート40%

教科書	参考図書
なし（適宜授業時にプリントを配布します）	授業時に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　事前に関係する箇所を読んでおいてください。連絡手段は授業時にお知らせします。

01	ガイダンス
02	政治①　近代国家と法
03	政治②　女性の人権と政治からの排除
04	教育①　女子教育と良妻賢母主義
05	教育②　女学校と女子大学
06	労働①　女性労働の形成と社会問題化
07	労働②　女性労働の拡大と勤労動員
08	生活①　家族制度と日常生活
09	生活②　生活の変化と家事労働
10	運動①　女性運動の成立と展開
11	運動②　大正デモクラシーの影響
12	運動③　女性運動の高揚と退潮
13	思潮①　女性をめぐる論争
14	思潮②　女性解放論
15	まとめ
16	なし

2021年度シラバス

科目名:言語学特論Ⅲ	担当者:都 恩珍	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
ことばと社会の様々な角度の関係を取り上げ、実際の社会で進行中の変化を捉え、日本での研究例を通してことばの変化と社会的要因の関わりについて、なぜ変化が起こるのかという原因とメカニズムを考察する。関連論文および参考書を精読し、自分なりの理解を述べながら討議し、主題についてレポートを提出する。

授業の到達目標
現在進行中の言語の変化に注目し、観察・分析することができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
言語資料の収集と観察、参考文献の整理などに約4時間の学修時間を必要とする。

評価方法
授業中の課題発表（40%）、レポート（40%）、学習活動への参加（20%）

教科書
『社会のなかの言語』スザーン・ロメイン　三省堂

参考図書
『社会言語学概論』中尾俊夫　日比谷潤子　服部範子　くろいそ出版『韓国人による日本社会言語学研究』真田信治監修　任 榮哲　おうふう『ことばのコミュニケーション』岡本真一郎　ナカニシヤ出版『バイリンガルはどのようにして言語を習得するのか』山本雅代　明石書店

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
日常の言葉を研究の対象として観察すると、様々な面白さが見えてきます。　連絡先は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：水曜日2限

01	社会のなかの言語、言語のなかの社会
02	言語の選択
03	社会言語学的なパターン
04	言語とジェンダー
05	社会からみた言語変化
06	言語接触
07	社会問題としての言語問題
08	社会言語学と方言研究
09	社会言語学と第２言語習得
10	バイリンガル
11	コミュニケーション論
12	日本の社会言語学的研究（１）韓国人のコミュニケーション
13	日本の社会言語学的研究（２）日本人と韓国人の言語行動
14	日本の社会言語学的研究（３）日本と韓国の言語表現の比較
15	日本の社会言語学的研究（４）日本における韓国人・韓国語
16	なし

2021年度シラバス

科目名:言語学特論Ⅳ	担当者:都 恩珍	開講学科等	大学院(地域)
		授業形態	講義
免許・資格:中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
海外と日本の言語教育の現場における事例を通して、とりわけ文化の理解と言語の教育、言語行動と社会・文化の観点で言語と社会の関係を考える。関連論文および参考書を精読し、自分なりの理解を述べながら討議し、主題についてレポートを提出する。

授業の到達目標
これまでに学んできた言語学の理論を実践例に照らし合わせることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
言語資料の収集と観察、参考文献の整理などに約4時間の学修時間を必要とする。

評価方法
授業中の課題発表（40%）、レポート（40%）、学習活動への参加（20%）

教科書
『講座・日本語教育学』縫部義憲監修、水島裕雅編集　第１巻、『講座・日本語教育学』縫部義憲監修、町博光編集　第２巻

参考図書
『日本語教育を学ぶ』遠藤織枝　SANSHUSHA 『多文化共生のコミュニケーション』徳井厚子　アルク『言語学習ストラテジー』レベッカ　L.オックスフォード　凡人社『バイリンガル教育の方法』中島和子　アルク

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
日常の言葉を研究の対象として観察すると、様々な面白さが見えてきます。　連絡先は授業中に提示します。諸事情により予定を変更することもあります。　オフィスアワー：水曜日2限

01	日本文化への視座
02	日本文化と異文化・異言語
03	国際交流の中の日本語教育
04	日本語教育の歴史と展望
05	何を教えるか、どう教えるか
06	多言語社会・多言語教育
07	異文化接触
08	コミュニケーションにおける言語・非言語行動
09	対照言語行動分析（１）日・韓・中
10	対照言語行動分析（２）日・英
11	バイリンガル教育の理論と海外の事例（１）アメリカのバイリンガル教育
12	バイリンガル教育の理論と海外の事例（２）海外子女とバイリンガル教育
13	バイリンガル教育の理論と海外の事例（３）日系人子女とバイリンガル教育
14	言語学習ストラテジー（１）言語学習のための直接ストラテジー
15	言語学習ストラテジー（２）言語学習のための間接ストラテジー
16	なし